第三次長野市文化芸術振興計画

（素々案）

令和９年４月

長野市

FEEL NAGANO, BE NATURAL

この街で、わたしらしく生きる。長野市

目　次

第１章　計画策定の趣旨
1　計画策定の意義・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
2　計画の期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
3　計画の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
4　計画策定の経緯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
5　本計画が対象とする文化芸術の範囲・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

第２章　文化芸術における近年の動向
1　社会情勢の変化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
2　国・県における文化政策の動向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

第３章　本市における現状と課題
1　文化芸術に関する市民アンケート結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
2　第二次長野市文化芸術振興計画の指標結果・・・・・・・・・・・・・・・・・15
3　長野市文化芸術振興における課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19

第４章　計画の基本的な考え方と施策の方向性
1　基本理念及び基本政策等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
2　計画の体系・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
3　成果・活動指標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
4　方策の展開・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
施策１　多彩な文化芸術の創造と活動支援・・・・・・・・・・・・・・・・・25
方策１　長野市芸術館を拠点とした多彩な文化芸術の鑑賞機会の提供・・・・・25
方策２　市民の自主的な文化芸術活動への支援と発表機会の充実・・・・・・・26
方策３　子どもの創造力や感性を育む文化芸術活動の支援・・・・・・・・・・27
方策４　交流が広がる魅力ある文化芸術事業の創造・・・・・・・・・・・・・28
施策２　文化の継承による魅力ある地域づくりの推進・・・・・・・・・・・・29
方策５　指定文化財などを調査・整備及び博物館の展示や史跡の公開の推進・・29
方策６　伝統文化・伝統芸能を次世代へ保存・継承する関係団体及び活動への支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
方策７　歴史的なまちなみなどの環境の保存・活用・・・・・・・・・・・・・31
方策８　歴史・文化遺産の保護・活用を担う団体の育成と活動支援・・・・・・32
施策３　観光や産業等の他分野との連携の推進・・・・・・・・・・・・・・・33
方策９　歴史・文化遺産を活かした観光や産業の振興・・・・・・・・・・・・33
方策10　文化芸術を活かした地域活性化と交流人口の拡大・・・・・・・・・・34

第５章　計画の推進体制と役割分担
1　推進体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35
2　役割分担・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36

第１章　計画策定の趣旨

第１章－１　計画策定の意義

文化芸術は、すべての市民が心のゆとりと潤いを実感し、活力ある社会を実現していく上で非常に大切なものであり、また、多くの市民が創作、発表、鑑賞、支援等の様々な形で文化芸術活動に携わることにより、多様な価値観を認め合い、誇りが持てる地域社会の形成を目指すことが重要です。

また、文化芸術は、郷土への愛着を醸成し、特に次代を担う子どもの思いやりやいつくしみの心を育むとともに、豊かな感性や人間が持っている本来の優しさと温もりを育みます。

さらに、優れた文化芸術は、魅力ある都市づくりの重要な要素をなすものです。

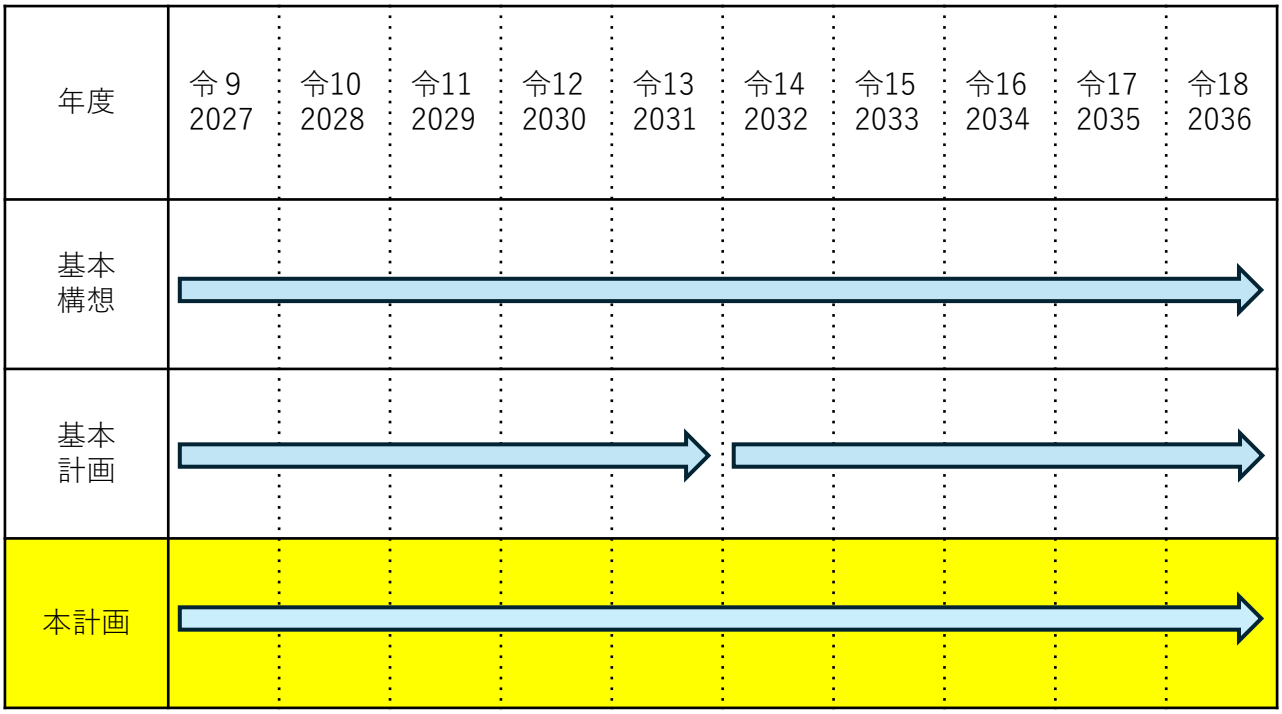
第六次長野市総合計画に掲げる「目指す姿」（10 文化芸術分野）の実現に向けて、市民と行政の協働により、文化芸術及び地域固有の伝統文化等の新たな発展と振興を図るための指針として、第三次長野市文化芸術振興計画（以下「本計画」という。）を策定するものです。

第１章－２　計画の期間

本計画は、第六次長野市総合計画（基本構想・基本計画）に準じ、令和９年度から令和18年度までの10年間の計画です。

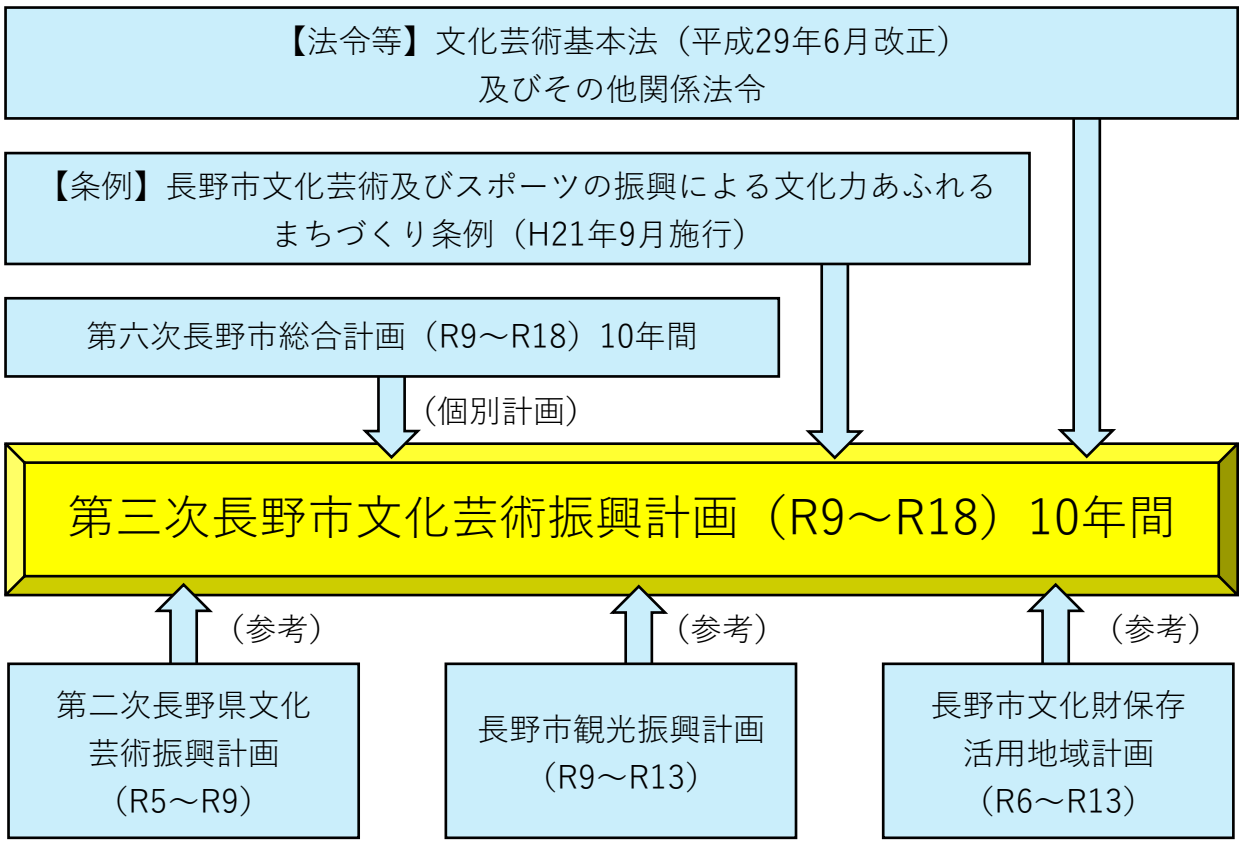
なお、社会情勢や市民ニーズの変化を踏まえ、必要に応じて見直しを行います。

● 第六次長野市総合計画（基本構想）と本計画との期間の関係



第１章－３　計画の位置づけ

本計画は、文化芸術基本法及び長野市文化芸術及びスポーツの振興による文化力あふれるまちづくり条例に基づくとともに、第二次長野県文化芸術振興計画、長野市観光振興計画、長野市文化財保存活用地域計画を参考に策定するものです。また、令和９年４月策定の第六次長野市総合計画の個別計画に位置付けます。



第１章－４　計画策定の経緯

年	内容
平成21年９月	**長野市文化芸術及びスポーツの振興による文化力あふれるまちづくり条例の制定**
平成22年４月	**第一次長野市文化芸術振興計画の策定（７年間）**
平成28年５月	長野市芸術館の開館
平成29年４月	**第二次長野市文化芸術振興計画の策定（10年間）**
令和４年４月	観光振興計画改定（５年間）
令和６年４月	長野市文化財保存活用地域計画の策定
令和８年５月	長野市芸術館の開館10周年
令和９年４月	**第三次長野市文化芸術振興計画の策定（10年間）**

第１章－５　本計画が対象とする文化芸術の範囲

本計画が対象とする文化芸術の範囲は、文化芸術基本法（平成29年６月改正）との整合性を踏まえ、同法（８条から14条）が対象としている範囲を基本とします。

ただし、文化芸術は、新たな創作活動により、常に変化していくことから、これらの枠にとらわれることなく、新たな分野など例示されていないものについても配慮し、注視していきます。

項目	内容（例）
芸術（法８条）	文学，音楽，美術，写真，演劇，舞踊など
メディア芸術（法９条）	映画，漫画，アニメーション及びコンピュータ その他の電子機器等を利用した芸術など
伝統芸能（法10条）	雅楽，能楽，文楽，歌舞伎，組踊その他の我が国古来の伝統的な芸能など（※１）
芸能（法11条）	講談，落語，浪曲，漫談，漫才，歌唱その他の芸能など
生活文化等（法12条）	茶道，華道，書道，食文化その他の生活に係る文化、囲碁，将棋その他の国民的娯楽、出版物及びレコードなど
文化財等（法13条）	有形及び無形の文化財並びにその保存技術など
地域における文化芸術（法14条）	各地域における文化芸術の公演，展示，芸術祭、地域固有の伝統芸能及び民俗芸能など（※２）

本市の特徴として、獅子舞フェスティバル（※１）、ながの祇園祭（※２）などが開催されている

第２章　文化芸術における近年の動向

第２章－１　社会情勢の変化

● **高度情報化の進展**

デジタル技術を活用した情報通信手段の拡大、進展に伴い、市民のライフスタイルが多様化し、さまざまな価値観が生まれています。また、多様な情報の受発信が可能であるため、情報の活用の幅が拡がり、生活の利便性が向上しています。

一方で、デジタル社会の中では、対面での意思疎通が薄れ、人間関係の希薄化につながるといった側面も指摘されています。

そうした背景の中、多くの情報を得られる「物理的な豊かさ」を享受できる一方で、精神的な安らぎや潤いのある生活といった「心の豊かさ」を得られる「文化芸術」の役割がますます求められています。

● **少子高齢化の進行**

少子高齢化の進行とともに、地域での様々な文化芸術活動の運営や実践を担う青年や成人や、それを受け継ぐ子どもも減少しています。

地域独自の伝統芸能・伝統文化の継承・発展に支障が生じることが危惧されており、対策が求められています。

● **持続可能な開発目標（SDGs）の取組の推進**

SDGsとは、2015年（平成27年）の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際社会共通の目標です。

文化芸術を単なる鑑賞や創作活動として捉えだけでなく、持続可能な社会づくりに貢献する重要な資源として位置づけることが求められています。

本計画においても、特に「4 質の高い教育をみんなに」、「5 ジェンダー平等を実現しよう」、「8 働きがいも経済成長も」、「11 住み続けられるまちづくりを」、「16 平和と公正をすべての人に」、「17 パートナーシップで目標を達成しよう」の目標の達成を推進していきます。



● **子どもの文化芸術の体験や活動機会の提供**

少子化を背景に、子どものスポーツや文化芸術活動などの体験機会を確保していくため、国（スポーツ庁・文化庁）では、中学校部活動の地域展開を進めています。

文化部活動において、今後、吹奏楽や合唱、演劇、美術といった活動を継続して実施していくためには、学校による部活動としてではなく、地域の中で展開する民間のクラブに所属することが必要になっており、活動場所までの移動や、クラブに参加するための参加費など、新たな負担や、活動日数の確保といった課題が浮かび上がっています。

本計画においても、以上のような背景を踏まえつつ、子どもが安心して引き続き、文化芸術活動を行えるよう、配慮してまいります。

第２章－２　国・県における文化政策の動向

近年、文化芸術基本法や文化観光の推進に関する法律の施行、文化財保護法や博物館法の改正等が行われたほか、国や県において、文化芸術を推進するための計画が、順次策定されるなど、文化芸術及び文化財に求められる役割が拡大し、その重要性が増しています。
（下記「第２章－２」参照）

文化芸術及び文化財は、単に発表・鑑賞・保存・継承されるだけでなく、その価値を積極的に活用し、観光、教育、福祉、まちづくりなど幅広い分野と連携を図りながら、地域活性化や持続可能な地域づくりに寄与することが求められるようになりました。

また、障害者による文化芸術活動の推進に関する法律の施行に伴い、障害のある人が文化芸術を鑑賞・制作・発表する機会を確保・充実させることで、心豊かな共生社会の実現を図ることも求められています。

本計画においても、文化芸術・文化財を活かした地域経済の振興を図るため、「観光や産業等の他分野との連携の推進」を重要な視点として推進するとともに、障害者も含め、誰もが気軽に様々な文化芸術に触れることができるよう、環境を整えてまいります。

年	内容
平成29年	文化芸術振興基本法改正（文化芸術基本法制定）
平成30年	障害者による文化芸術活動の推進に関する法律施行
平成30年	国の文化芸術推進基本計画（第一期）策定
平成30年	長野県文化芸術振興計画（第一期）策定
令和２年	文化観光拠点施設を中核とした地域における 文化観光の推進に関する法律施行
令和３年	長野県立美術館リニューアルオープン
令和３年	文化財保護法改正
令和４年	博物館法改正
令和５年	国の文化芸術推進基本計画（第二期）策定
令和５年	長野県文化芸術振興計画（第二期）策定

第３章　本市における現状と課題

第３章－１　文化芸術に関する市民アンケート結果

１　長野市文化芸術に関する市民アンケート（令和７年９月）実施概要

長野市では、市政に対する市民ニーズ、市が実施する事業に対する考え方、意見、優先度などを調査し、今後の施策の基礎資料とするため、毎年、「まちづくりアンケート」を実施しています。

令和７年９月実施の「まちづくりアンケート」において、設問テーマⅣで「文化芸術について」の調査を実施しました。

＜まちづくりアンケート　設問テーマⅣ「文化芸術について」＞

目　　的：市民による文化芸術活動への参画状況や文化芸術鑑賞の機会などを調査し、社会情勢や市民ニーズに即した文化芸術振興施策を令和９年度から始まる第三次長野市文化芸術振興計画に反映させるため、調査を実施
調 査 対 象：満18歳以上の市内在住の方
標 本 総 数：5,000通
回収標本数：2,630通
回　収　率：52.6%
設　　問：以下５問

● 問１　この１年間の文化芸術の鑑賞、創作・実践について
過去１年間に、ホール・劇場、映画館、美術館・博物館などに出向いて、直接鑑賞した文化芸術は何ですか。また、文化芸術の創作・実践　（自ら作る、演じる、発表する、習う、支援活動をするなど）をしましたか。

● 問２　文化芸術を鑑賞、創作・実践した施設について
問１で文化芸術を鑑賞、創作・実践した施設はどちらですか。

● 問３　今後の文化芸術への関わり方について
あなたは、これから文化芸術にどのように関わっていきたいですか。

● 問４　文化芸術活動振興のために長野市がすべきこと
文化芸術活動振興のために長野市は何を実施すべきだと思いますか。

● 問５　日常生活における文化芸術の体験・実践について
日常生活の中で、優れた文化芸術体験をしたり、自ら文化芸術活動を行ったりすることについて、どのように思いますか。

● 問１　この１年間の文化芸術の鑑賞、創作・実践について

（全体）

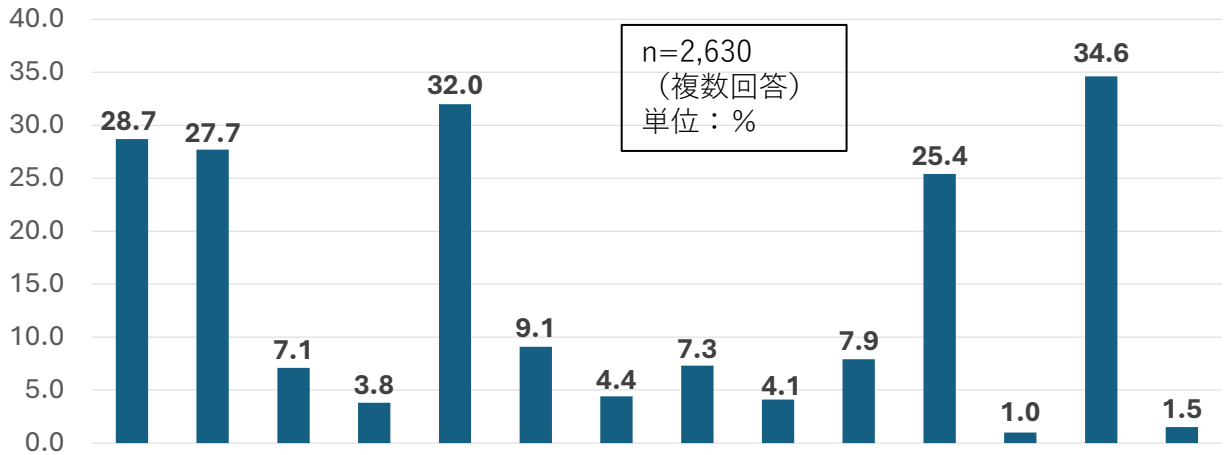
「映画」（32.0%）、「音楽」（28.7%）、「美術」（27.7%）、「歴史的な建物・遺跡」（25.4%）の順で割合が高く、それ以外は１割未満となっています。

一方、「特にない」は、34.6%となっています。

（年代別）

年代別では、10歳代、20歳代、30歳代は「映画」の割合が最も高いほか、「メディア芸術」が上位３位以内に入り、比較的割合が高い状況です。

一方で、「音楽」と「美術」は、70歳代、80歳以上で、比較的割合が高くなっています。



割合（%）	音楽（オーケストラ、室内楽、合唱、ジャズ、ポップスなど）	美術（絵画、彫刻、書道、工芸、写真など）	演劇（現代劇、人形劇、ミュージカルなど）	舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	映画（アニメーションを除く）	メディア芸術（マンガ、アニメーション、メディアアートなど）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（落語、講談、漫才、浪曲など）	生活文化（茶道、華道など）	文学・文芸（小説、詩、短歌など）	歴史的な建物・遺跡	その他	特にない	無回答
10歳代	**36.7**	20.0	6.7	-	**56.7**	**30.0**	-	6.7	3.3	3.3	10.0	-	13.3	-
20歳代	24.2	24.8	8.5	1.2	**47.3**	**25.5**	1.8	4.2	1.2	8.5	**30.3**	0.6	27.3	-
30歳代	25.8	27.1	10.5	1.7	**43.2**	**26.6**	0.9	6.1	0.9	8.7	**26.6**	1.3	31.9	-
40歳代	30.8	26.2	4.7	4.7	36.4	14.6	2.8	2.8	2.5	5.6	24.9	-	32.4	-
50歳代	27.5	25.1	9.1	2.6	35.4	6.9	4.4	5.9	4.6	5.3	24.8	1.2	37.0	0.4
60歳代	31.2	32.3	8.0	3.6	34.8	5.7	4.6	8.6	4.9	6.3	30.6	1.1	33.3	0.8
70歳代	**31.4**	30.1	5.5	6.6	25.0	2.6	5.9	10.5	6.4	10.8	26.8	1.5	32.5	2.4
80歳以上	24.2	**25.3**	5.0	3.9	13.9	1.1	7.2	9.2	4.2	10.6	15.8	0.6	45.0	5.6

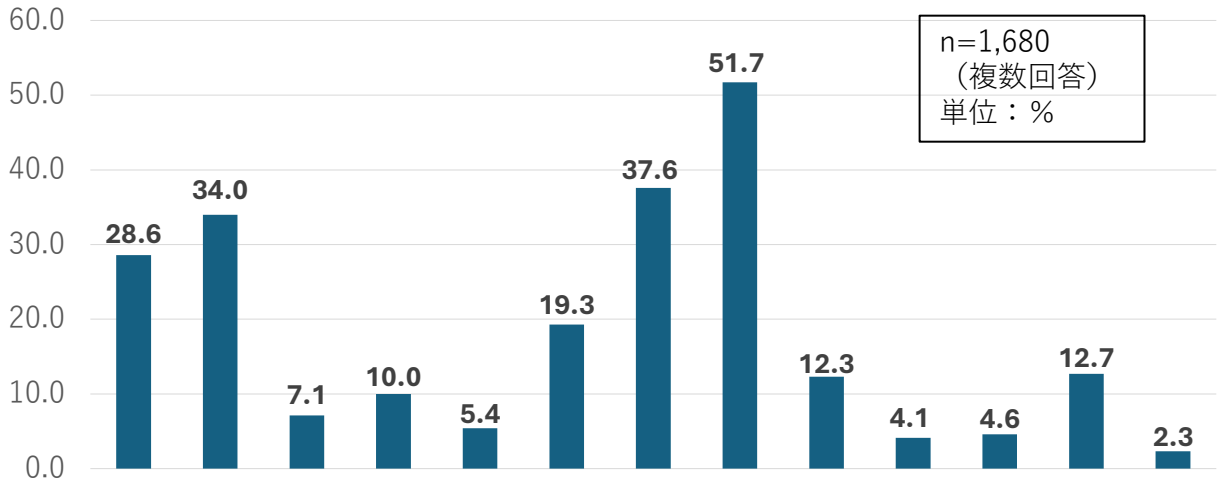
● 問２　文化芸術を鑑賞、創作・実践した施設について

（全体）

問1で文化芸術を鑑賞したと答えた1,680人に、鑑賞、創作・実践した施設を聞いたところ、最多は「映画館」の51.7％で、「美術館・博物館・資料館」が37.6％、「ホクト文化ホール」が34.0％、「長野市芸術館」が28.6％、「公民館・交流センター、生涯学習センター」が19.3％と続いています。

（年代別）

年代別では、10歳代、20歳代、30歳代は「映画館」が高く、70歳代と80歳以上は「ホクト文化ホール」、「長野市芸術館」、「公民館・交流センター、生涯学習センター」の割合が高くなっています。



割合（%）	長野市芸術館	ホクト文化ホール	松代文化ホール・東部文化ホール・若里市民文化ホール	多目的アリーナ（ビッグハット、エムウエーブ、ホワイトリング）	北野文芸座	公民館・交流センター、生涯学習センター	美術館・博物館・資料館	映画館	図書館	学校	レクリエーション施設	その他	無回答
10歳代	30.8	38.5	3.8	3.8	-	-	15.4	**76.9**	7.7	23.1	-	3.8	-
20歳代	13.3	18.3	-	7.5	2.5	2.5	39.2	**75.8**	8.3	2.5	5.8	15.0	2.5
30歳代	26.3	25.0	1.9	8.3	1.9	5.8	39.1	**67.3**	14.7	3.2	3.8	14.1	1.9
40歳代	26.7	28.6	8.3	9.2	1.4	9.2	34.6	57.6	9.2	5.5	3.2	13.8	1.4
50歳代	22.8	30.7	4.1	11.4	4.4	8.9	37.0	57.3	10.4	3.5	2.2	17.1	2.2
60歳代	28.8	34.3	4.5	9.6	9.3	16.3	46.5	51.9	10.6	2.9	5.1	16.3	1.9
70歳代	**35.0**	**40.4**	11.9	10.2	5.6	**38.4**	34.7	38.1	17.8	4.0	5.9	6.8	3.1
80歳以上	**40.4**	**51.7**	15.7	12.9	10.7	**43.3**	33.7	28.1	12.9	5.1	7.3	6.7	3.4

● 問３　今後の文化芸術への関わり方について

（全体）

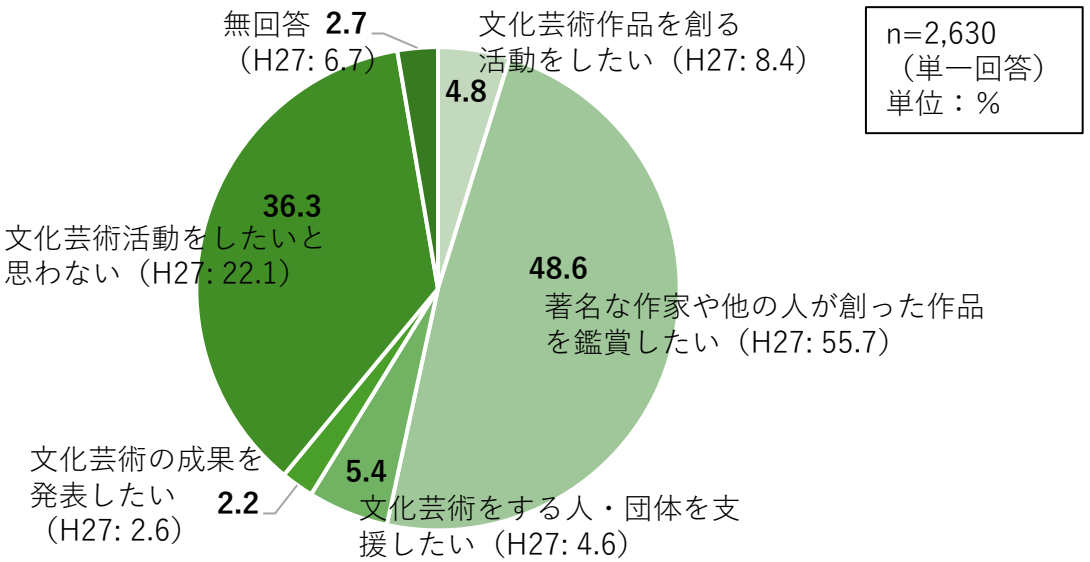
「著名な作家や他の人が創った作品を鑑賞したい」が48.6％と最も多く、「文化芸術活動をしたいと思わない」は36.3％、「文化芸術活動をする人・団体を支援したい」は5.4％、「文化芸術作品を創る活動をしたい」は4.8％、「文化芸術の成果を発表したい」は2.2％と続き、６割以上の市民が、何らかの形で関わりたいと考えています。

（年代別）

10歳代、20歳代は、「創作活動をしたい」が高く、70歳代、80歳以上では「人・団体を支援したい」が比較的に高い状況となっています。

（前回調査との比較）

前回調査との比較では、「創作活動をしたい」、「成果を発表をしたい」、「鑑賞したい」という方の割合が減少している一方、「人・団体を支援したい」という方の割合が増加しています。



割合（%）	文化芸術作品を創る活動をしたい	著名な作家や他の人が創った作品を鑑賞したい	文化芸術活動をする人・団体を支援したい	文化芸術の成果を発表したい	文化芸術活動をしたいと思わない	無回答
10歳代	**10.0**	36.7	6.7	6.7	40.0	-
20歳代	**10.9**	49.7	5.5	0.6	33.3	-
30歳代	5.2	49.8	4.4	1.7	38.9	-
40歳代	6.5	50.8	4.0	0.6	38.0	-
50歳代	4.6	54.7	3.4	1.0	35.8	0.6
60歳代	4.9	54.0	5.5	1.7	32.7	1.3
70歳代	2.6	46.9	**6.8**	4.8	34.0	5.0
80歳以上	3.6	33.1	**7.8**	2.8	43.3	9.4

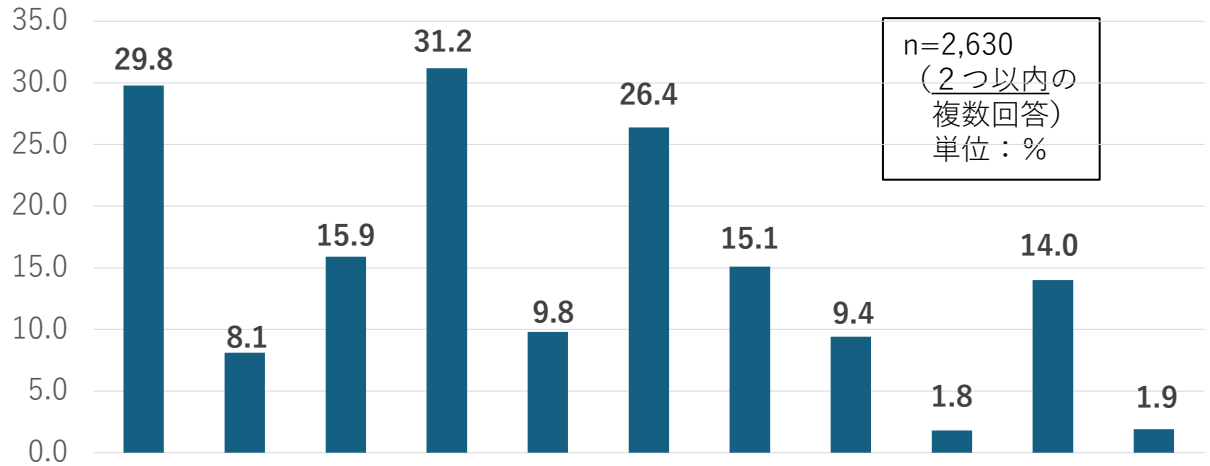
● 問４　文化芸術活動振興のために長野市がすべきこと

（全体）

「コンサートや美術展などの開催を増やす」（31.2%）が最も多く、次いで「コンサートや美術展などの開催情報を提供する」（29.8%）、「児童・生徒の文化芸術に対する関心や興味を高める事業を実施する」（26.4%）が上位を占めています。

（年代別）

年代別では、「児童・生徒の文化芸術に対する関心や興味を高める事業を実施する」が10歳代が46.7%、30歳代が33.2%、40歳代が38.9%と高く、「コンサートや美術展などの開催を増やす・開催情報を提供する」が、全世代において比較的高くなっている。



割合（%）	コンサートや美術展などの開催情報を提供する	文化芸術活動をしている団体の情報を提供する	市民が利用できるホール・ギャラリー・練習場などの情報を提供する	コンサートや美術展などの開催を増やす	文化芸術団体に対して助成や支援を行う	児童・生徒の文化芸術に対する関心や興味を高める事業を実施する	伝統芸能の継承に対して助成や支援を行う	個人の自由な活動に任せるべきである	その他	分からない	無回答
10歳代	**30.0**	13.3	13.3	**23.3**	13.3	**46.7**	10.0	13.3	-	10.0	-
20歳代	**26.7**	7.9	17.6	**39.4**	8.5	22.4	13.3	12.7	3.6	10.3	-
30歳代	**37.1**	8.7	17.5	**30.6**	7.0	**33.2**	16.6	9.6	0.9	9.2	-
40歳代	**29.0**	5.9	17.4	**38.3**	8.4	**38.9**	14.6	5.6	2.5	8.1	-
50歳代	**34.1**	7.9	15.8	**39.6**	8.7	21.2	12.7	7.7	2.0	15.2	0.4
60歳代	**35.4**	10.3	16.2	**32.9**	10.1	26.4	15.0	8.9	1.3	11.6	1.1
70歳代	**24.8**	9.4	15.3	**26.3**	11.6	26.3	17.6	10.1	1.5	14.3	3.9
80歳以上	**21.4**	5.0	13.6	**15.6**	11.4	18.9	15.8	12.8	2.2	25.0	6.4

（前回調査との比較）

前回調査との比較では、「コンサートや美術展などの開催情報を提供する」、「コンサートや美術展などの開催を増やす」、「児童・生徒の文化芸術に対する関心や興味を高める事業を実施する」が前回から引き続き高い割合となっています。

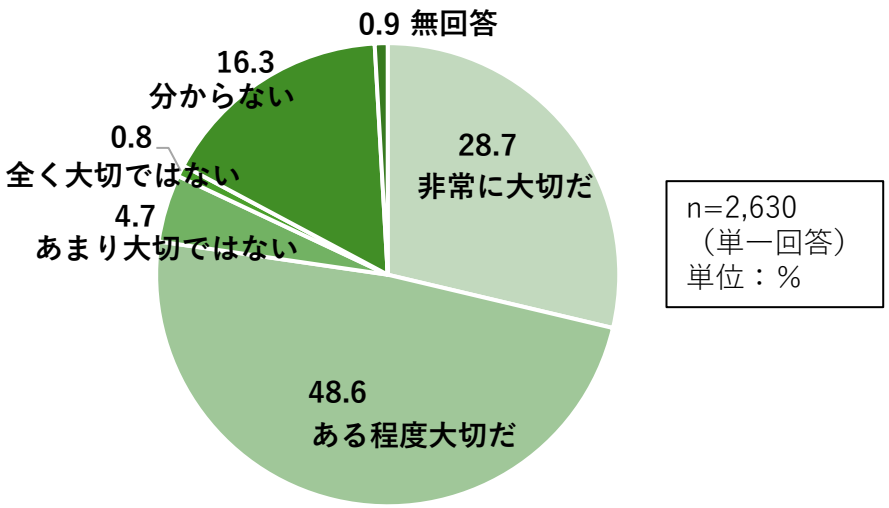
項目	R7	H27	H18
コンサートや美術展などの開催情報を提供する	**29.8%**	**33.3%**	36.4%
文化芸術活動をしている団体の情報を提供する	8.1%	11.5%	15.7%
市民が利用できるホール・ギャラリー・練習場などの情報を提供する	15.9%	22.4%	23.1%
コンサートや美術展などの開催を増やす	**31.2%**	**32.9%**	26.9%
文化芸術団体に対して助成や支援を行う	9.8%	10.7%	9.7%
児童・生徒の文化芸術に対する関心や興味を高める事業を実施する	**26.4%**	**22.2%**	28.6%
伝統芸能の継承に対して助成や支援を行う	15.1%	-	-
個人の自由な活動に任せるべきである	9.4%	9.0%	9.9%
その他	1.8%	2.2%	2.3%
分からない	14.0%	12.5%	9.7%
無回答	1.9%	3.0%	4.5%
地域文化に貢献した方を広く紹介したり表彰を行うことを充実させる	-	-	5.3%
音楽や演劇などの練習場を増やす	-	-	10.0%

● 問５　日常生活における文化芸術の体験・実践について

（全体）

日常生活の中で優れた文化芸術体験をしたり、自ら文化芸術活動を行ったりすることについて、「非常に大切だ」は28.7%、「ある程度大切だ」は48.6%で、合わせて77.3%が「大切」と回答しました。

一方で、「あまり大切ではない」、「全く大切ではない」は合わせて5.5%で、「分からない」は16.3%でした。



（年代別）

年代別では、「非常に大切だ」は30歳代と40歳代で32％台と高い状況となっている。

割合（%）	非常に大切だ	ある程度大切だ	あまり大切ではない	全く大切ではない	分からない	無回答
10歳代	20.0	66.7	6.7	-	6.7	-
20歳代	29.7	50.3	8.5	1.8	9.7	-
30歳代	**32.8**	50.2	6.6	0.9	9.6	-
40歳代	**32.1**	50.2	5.0	-	12.8	-
50歳代	29.1	50.3	3.6	0.8	16.0	0.2
60歳代	31.4	47.0	4.4	1.3	15.0	0.8
70歳代	23.7	52.0	4.6	0.4	18.2	1.1
80歳以上	26.7	38.6	3.6	1.1	26.7	3.3

● （参考）行政施策の優先度：長野市が特に力を入れるべき施策の順位

文化芸術に関する施策の優先度は、他の施策と比較すると低めの状況が続いています。

項目	R７（全55項目）	H27（全45項目）	H18（全45項目）
文化の継承による魅力ある地域づくり	44位（3.1%）	30位（5.9%）	37位（4.0%）
多彩な文化芸術の創造と活動支援	46位（2.2%）		

2　アンケート結果（まとめ）

問１　<u>この１年間の文化芸術の鑑賞、創作・実践について</u>

◎　文化芸術の鑑賞、創作・実践については、映画（アニメーション除く）、音楽（オーケストラ、室内楽、合唱、ジャズ、ポップスなど）、美術（日本画・洋画、彫刻、書、写真など）、歴史的な建物・遺跡の割合が高く、多くの市民が文化芸術に親しんでいる一方、「特にない」という意見が最も多く、文化芸術に無関心な方も一定数います。

年代別では、10歳代、20歳代、30歳代と若い世代で、「映画」と「メディア芸術」の割合が高く、文化芸術が日常生活に溶け込んでいる一方、「音楽」、「美術」については、70歳代、80歳以上の割合が比較的高い傾向となっています。

問２　<u>文化芸術を鑑賞、創作・実践した施設について</u>

◎　鑑賞等した施設では、映画館が最も高く、美術館・博物館・資料会、ホクト文化ホール、長野市芸術館と続いています。年代別の比較では、10歳代から30歳代で「映画館」が高く、70歳代から80歳以上は、「ホクト文化ホール」、「長野市芸術館」、「公民館・交流センター、生涯学習センター」の割合が高くなっています。

先程の問１から合わせて考察しますと、20歳代、30歳代の文化芸術の楽しみ方は、音楽や美術鑑賞よりも、映画やメディア鑑賞への興味・関心が高いことが伺えます。一方、70

歳代から80歳以上は、映画も親しみつつ、音楽や美術鑑賞も同時に楽しんでいることが伺えます。

問３　今後の文化芸術への関わり方について

◎　今後の文化芸術の関わり方については、６割以上の市民が、今後、何らかの形で文化芸術に関わりたいと回答しており、多くの市民が文化芸術に関心を持っている一方、活動したくないという文化芸術に関心が低い方も４割弱いる状況です。

　年代別では、10歳代、20歳代は、「創作活動をしたい」が比較的高く、70歳代、80歳以上では「人・団体を支援したい」が比較的に高い状況となっていますが、各年代別とも全体の１割前後に留まっています。

　なお、作品を鑑賞する意欲はどの世代においても高い状況といえます。

問４　文化芸術活動振興のために長野市がすべきこと

◎　市が行うべき文化芸術振興施策としては、「コンサートや美術展などの開催を増やす」、次いで「コンサートや美術展などの開催情報を提供する」、「児童・生徒の文化芸術に対する関心や興味を高める事業を実施する」が前回から引き続き高い割合となっており、市民が文化芸術に触れる機会を増やすことや、きめ細かい情報提供が求められています。

　年代別では、「児童・生徒の文化芸術に対する関心や興味を高める事業を実施する」が10歳代、30歳代、40歳代で高く、児童・生徒自身や保護者が文化芸術に接する機会を求めていることが伺えます。また、「コンサートや美術展などの開催を増やす・開催情報を提供する」が、全世代において比較的高く、コンサートや美術展の開催があれば鑑賞する意欲が伺えます。

問５　日常生活における文化芸術の体験・実践について

◎　日常生活における文化芸術の体験・実践では、８割近くの市民が、日常生活において、文化芸術の体験や実践が大切だと考えており、文化芸術が生活に潤いを与える影響力を多くの市民が認識している状況です。

　年代別では、「非常に大切だ」は30歳代と40歳代で32％台と高く、比較的若い世代ほど、その重要性を認識している傾向があります。

（参考）

◎　行政施策の優先度については、文化芸術に関する施策の優先度は低く、関心はあっても、他の施策と比較すると順位が低い状況となっています。

第３章－２　第二次長野市文化芸術振興計画の指標結果

１　実施概要

第二次長野市文化芸術振興計画（H29からＲ８）では、３つの施策ごとに達成すべきアンケート指標（市民が思う割合）及び統計指標を設け、毎年、進捗状況を管理しています。

※アンケート指標…毎年実施している「市民アンケート」と「幸せ実感モニター（総合計画における市民モニター）によるアンケート」を合わせたアンケート結果
※統　計　指　標…毎年のそれぞれの指標の実績値

なお、令和４年度から、指標の基準となる「現状値」の時点修正を行っており、また、令和８年度の指標結果は、令和９年度に結果が出ることから、本計画では、令和４年度から令和７年度までの４年間の結果概要について、報告します。

（参考）
令和７年度「市民アンケート」対象者数　…市内在住の18歳以上6,000人
（実施時期：令和８年１月調査）
令和７年度「幸せ実感モニター」対象者数…市内在住又は市内に通勤・通学している15歳以上237人
（実施時期：令和８年１月から２月調査）

（１）　施策１「多様な文化芸術の創造と活動支援」

◎アンケート指標（市民が思う割合）

指標名	**現状値**（R03）	実績値（R04）	実績値（R05）	実績値（R06）	実績値（R07）	実績値（R08）	平均（R04～R07）	目標（R08）
音楽、美術や演劇など文化芸術に気軽に親しめる環境が整っている	39.5%	41.6%	41.9%	40.6%	41.6%	―	41.4%	⇗
音楽、美術、演劇などを観たり、聴いたり、行ったりして楽しんでいる	31.7%	36.1%	41.7%	39.7%	39.5%	―	39.3%	⇗

※目標の ⇗ は、令和４年度から令和８年度までの実績値平均で、現状値である令和３年度から、５ポイント以上の上昇を目指すことを示しています。

＜結果＞
「音楽、美術や演劇など文化芸術に気軽に親しめる環境が整っている」と回答した市民は、現状値に対し、「平均(R04～R07)」で1.9ポイント増加しました（R08目標未達成）。
一方で、「音楽、美術、演劇などを観たり、聴いたり、行ったりして楽しんでいる」と回答した市民は、現状値に対し、「平均(R04～R07)」で7.6ポイント増加しました（R08目標達成）。
メディアの発達で、音楽・美術・演劇などを楽しむ人の割合は増加している一方、それらを気軽に楽しめる環境整備のさらなる取組が必要です。

◎統計指標（統計による指標）

指標名	内容	**現状値（R02)**	実績値（R03)	実績値（R04)	実績値（R05)	実績値（R06)
市有ホール施設の利用者数	長野市芸術館、東部文化ホール、松代文化ホール、勤労者女性会館しなのき、若里市民文化ホール	149,200人	237,929人	315,985人	356,562人	359,605人
			実績値（R07)	実績値（R08)	―	目標（R08)
			372,731人	―		458,000人

＜結果＞

現状値に対し、実績値(R07)で、223,531人増加しました（R08目標未達成）。

利用者数は年々増加している一方、目標には到達しておらず、各施設において、利用者数の増加に向けた取組が一層必要です。

（2） 施策２「文化の継承による魅力ある地域づくりの推進」

◎アンケート指標（市民が思う割合）

指標名	**現状値（R03)**	実績値（R04)	実績値（R05)	実績値（R06)	実績値（R07)	実績値（R08)	平均（R04～R07)	目標（R8)
地域の文化財が適切に保存・継承・活用されている	52.2%	54.4%	51.6%	52.1%	53.4%	―	52.9%	↖
地域の伝統的な行事に参加している	31.3%	28.9%	34.4%	34.6%	35.1%	―	33.3%	↖

※目標の ↖ は、令和４年度から令和８年度までの実績値平均で、現状値である令和３年度から、５ポイント以上の上昇を目指すことを示しています。

＜結果＞

「地域の文化財が適切に保存・継承・活用されている」と回答した市民は、現状値に対し、「平均(R04～R07)」で0.7ポイント増加しました（R08目標未達成）。

また、「地域の伝統的な行事に参加している」と回答した市民は、現状値に対し、「平均(R04～R07)」で2.0ポイント増加しました（R08目標未達成）。

地域の文化財の適切な保存・継承・活用や地域の伝統的行事への参加割合は増加している一方、目標には到達しておらず、より一層の増加に向けた取組が必要です。

◎統計指標（統計による指標）

指標名	内容	**現状値（R02)**	実績値（R03)	実績値（R04)	実績値（R05)	実績値（R06)
文化財保護活動参加者数	指定文化財の保護にあたっている市民団体の構成員で活動に参加した人数	5,255人	2,195人	2,616人	2,246人	2,025人
			実績値（R07)	実績値（R08)	―	目標（R08)
			2,668人	―		6,400人

＜結果＞

現状値に対し、実績値(R07)で、2,587人減少しました（R08目標未達成）。

なお、R03からは増加しており、近年では増加傾向が見られるが、目標には到達しておらず、活動参加人数の増加に向けた取組が必要です。

（3） 施策３「魅力を活かした観光の振興」

◎アンケート指標（市民が思う割合）

指標名	**現状値（R03)**	実績値（R04)	実績値（R05)	実績値（R06)	実績値（R07)	実績値（R08)	平均（R04～R07)	目標（R8)
コンサートやスポーツなどのイベントの開催により、にぎわいが生まれている	34.4%	43.6%	43.6%	41.7%	43.8%	―	43.2%	↖

※目標の ↖ は、令和４年度から令和８年度までの実績値平均で、現状値である令和３年度から、５ポイント以上の上昇を目指すことを示しています。

＜結果＞

「コンサートやスポーツなどのイベントの開催により、にぎわいが生まれている」と回答した市民は、現状値に対し、「平均(R04～R07)」で8.8ポイント増加しました（R08目標達成）。

さまざまなイベントの開催により、街ににぎわいが生まれていると感じている市民が増加しており、引き続き、取組が必要です。

◎統計指標（統計による指標）

指標名	内容	**現状値（R02)**	実績値（R03)	実績値（R04)	実績値（R05)	実績値（R06)
誘致・支援するコンベンションの参加者数	ながの観光コンベンションビューローが誘致・支援した参加者数	10,220人	28,771人	65,867人	77,468人	78,180人
			実績値（R07)	実績値（R08)	―	目標（R08)
			80,887人	―		120,000人

＜結果＞

現状値に対し、実績値(R07)で、70,667人増加しました（R08目標未達成）。

なお、現状では目標が未達成であるものの、R02からは年々増加しており、コンベンション誘致・支援の効果が見られます。

2　アンケート結果（まとめ）

（1）　施策１「多様な文化芸術の創造と活動支援」

メディアの発達で、音楽・美術・演劇などを楽しむ人の割合は増加し、目標に達していますが、そうした文化芸術に親しめる環境が整っていると感じている人は比較的少ない状況です。

市有ホールの施設の利用者数が年々増加傾向にあっても、目標に達していないことから、より多くの市民に気軽に市有ホール等施設を利用してもらい、文化芸術に親しんでもらえるような取組の推進が必要です。

（2）　施策２「文化の継承による魅力ある地域づくりの推進」

地域の文化財が適切に保存・継承・活用されている感じている市民は約半数程度、また、地域の伝統的な行事に参加していると回答した市民は約30%程度とほぼ一定の割合で推移している状況です。一方、半数から７割程度の市民が、文化財が保存・継承・活用されている実感がないほか、地域の伝統的行事への参加も消極的なことが伺えます。

市民が、文化財に興味関心を持ち、保護活動にも積極的に参加できるような仕組みづくりと、積極的な文化財の公開、地域の伝統的行事への参加を促すための情報発信が一層必要です。

（3）　施策３「魅力を活かした観光の振興」

コンサートやスポーツのなどのイベントの開催により、街ににぎわいが生まれていると実感している市民の割合は、目標にも達し、増加しています。

ながの観光コンベンションビューローが誘致・支援したイベントの参加者数が年々増加しており、効果として数字に表れている状況です。

文化芸術及び文化財においても、イベントの誘致、開催を通じて、多くの観光客を呼び込む取組の推進が引き続き必要です。

第３章－３　長野市文化芸術振興における課題

「文化芸術に関する市民アンケート結果」及び「第二次長野市文化芸術振興計画の指標結果」を踏まえ、長野市の文化芸術振興における課題をまとめました。

課題１：文化芸術・文化財の認知を高め、文化芸術に触れる機会を充実させるとともに、それらを気軽に楽しめる環境を整えること

・日常生活において文化芸術の体験や実践の大切さを感じ、影響力を認識している市民も多いことから、多くの市民に、文化芸術や文化財の鑑賞機会を増やし、興味関心を持つきっかけを促すことが必要です。
・文化芸術活動をしたいと思わない市民も多く、文化芸術活動にふれる機会を増やすことが必要です。
・文化芸術活動を行う団体・個人の発表の場の充実と、活動支援を行う必要があります。
・メディアの発達で、若い世代を中心に音楽、メディア芸術を楽しんでる一方、文化芸術に関心のない方も多い状況です。市有ホール等における各種公演やイベントの積極的な情報発信を行うほか、ソフト、ハード両面からの受け入れ環境の整備も必要です。
・性別、年齢、障がいの有無や国籍等に関わらず、全ての人が文化芸術活動に参加できる持続可能な取組や環境づくりが必要です。
・文化財の展示の機会を増やし、情報発信を通じて関心を持ってもらうことが必要です。

課題２：文化芸術・文化財、地域の伝統的行事を支える担い手を確保し、継承されること

・地域の文化財が保存・継承・活用されていないと感じる市民も多い中、地域において、そうした活動に積極的に携わる人材を発掘する必要があります。
・若い世代を中心に、文化芸術の鑑賞や創作活動等を通じて、文化芸術に接する機会を求める声が多い一方で、高齢世代を中心に、継承に向けた育成・支援の必要性を感じています。地域において、伝統芸能や伝統文化、伝統的行事も含めて、多くの市民の参加を促し、地域を挙げて継承していく取組が必要です。

課題３：文化芸術・文化財を活用して地域の活性化を促すこと

・コンサートやスポーツのイベントの誘致・開催を通じて、街ににぎわいが生まれていると実感している市民が多く、イベント参加者が市内を周遊することによる地域活性化が期待できます。
文化芸術イベントや、文化財の展示会等に併せ、市内の観光コンテンツを活かした取り組み等と連携し、相乗効果を生み出す取組が必要です。

第４章　計画の基本的な考え方と施策の方向性

第４章－１　基本理念及び基本政策等

１　基本理念

文化芸術には、人生をより豊かにする力、世代を超えた喜びや感動をもたらす力、人々の心のつながりや連帯感を形成する力など、様々な力があります。これらの力を「文化力」とするなら、物の豊かさだけでなく心の豊かさが求められている今こそ、文化力に満ちた地域社会の形成が必要です。

また、この文化力に満ちた魅力的な地域社会を形成していくためには、個性が輝く人の存在や活動がつながり支える仕組みがあること、魅力ある文化都市としての基盤が存在することが重要です。本計画では、上位計画である第六次長野市総合計画に掲げる、次の「目指す姿」（10 文化芸術分野)を本計画の基本理念に据えて、その実現に向けた取組を進めます。

文化芸術に親しみ、創造し、継承されている

【参考１】第六次長野市総合計画基本構想・基本計画

1　将来像
「幸せを未来へ紡ぐ『ながの』～住みたいまちはみんなで創る～」
2　施策の大綱（産業部門）将来の姿
「創造と挑戦が『産業』を育み、進化し続けるまち」
※「10文化芸術」分野は、三部門（「ひと」、「まち」、「産業」）うち、「産業」部門に属します。
3　「10文化芸術」分野が関わる分野横断テーマ
「〇〇〇〇〇…」
4　分野別「目指す姿」（10文化芸術）
文化芸術に親しみ、創造し、継承されている ⇒ **本計画の基本理念と一致**

【参考２】「長野市文化芸術及びスポーツの振興による文化力あふれるまちづくり条例」に定める基本理念

1　市民等が誇りと愛着を持つことのできる活力に満ちた地域社会の実現を図ること
2　市民等の自主性及び主体性が十分に尊重されること
3　市民等の文化芸術に対する意識の高揚を図ること
4　市及び市民等がそれぞれの役割を担い、相互の連携及び協働により推進すること
5　市民等が等しく文化芸術に親しみ、参加し、又はこれらの活動を活発に行うことができる環境の整備を図ること

2　基本政策

上位計画である第六次長野市総合計画では、「目指す姿」（10 文化芸術分野)の実現に向けた取組の方向性として、次の３つの政策を掲げており、本計画における基本理念を実現するための政策としても同様に展開していきます。

政策１：魅力あふれる文化芸術活動の推進

政策２：多彩な歴史・文化芸術に対する愛着と誇りの醸成

政策３：文化芸術・文化財を活かした地域経済の振興

3　総合指標（分野別）

上記３つの政策の実現に向けて取組を推進することで、次の、第六次長野市総合計画における「目指す姿」（10 文化芸術分野)の総合指標の達成を目指します。

総合指標（分野10）：文化・芸術・芸能が盛んで誇らしいまちである

※第六次長野市総合計画における指標
※指標は、アンケート実施による市民の割合

4　基本施策

本計画は、第六次長野市総合計画の個別計画に位置付けられます。
そこで、各基本政策に、次の各施策をそれぞれ紐づけ、取組を推進していきます。

政策１：魅力あふれる文化芸術活動の推進

- 施策１：多彩な文化芸術の創造と活動支援

政策２：多彩な歴史・文化芸術に対する愛着と誇りの醸成

- 施策２：文化の継承による魅力ある地域づくりの推進

政策３：文化芸術・文化財を活かした地域経済の振興

- 施策３：観光や産業等の他分野との連携の推進

第４章－２　計画の体系

第三次長野市文化芸術振興計画

第六次長野市総合計画
（10 文化芸術:目指す姿）

基本理念	政策	施策	方策
文化芸術に親しみ、創造し、継承されている	**政策１** **◎魅力あふれる文化芸術活動の推進**	施策１ 多彩な文化芸術の創造と活動支援	方策１ 長野市芸術館を核とした多彩な文化芸術の鑑賞機会の提供 方策２ 市民の自主的な文化芸術活動への支援と発表機会の充実 方策３ 子どもの創造力や感性を育む文化芸術活動の支援 方策４ 交流が広がる魅力ある文化芸術事業の創造
	政策２ **◎多彩な歴史・文化芸術に対する愛着と誇りの醸成**	施策２ 文化の継承による魅力ある地域づくりの推進	方策５ 指定文化財などの調査・整備及び博物館の展示や史跡 の公開の推進 方策６ 伝統文化・伝統芸能を次世代へ保存・継承する関係団体及び活動への支援 方策７ 歴史的なまちなみなどの環境の保存・活用 方策８ 歴史・文化遺産の保護・活用を担う団体の育成と活動支援
	政策３ **◎文化芸術・文化財を活かした地域経済の振興**	施策３ 観光や産業等の他分野との連携の推進	方策９ 歴史・文化遺産を活かした観光や産業の振興 方策10 文化芸術を活かした地域活性化と交流人口の拡大

■ 本計画における成果・活動指標

施策１　多彩な文化芸術の創造と活動支援

指標名	現状値(R7)	目標
市有ホール施設の利用者数※（文化芸術） （長野市芸術館、東部文化ホール、松代文化ホール、 勤労者女性会館しなのき、若里市民文化ホール）	372,731人	445,000人

※令和７年度実績から毎年、コロナ禍の影響がない令和５年度から令和７年度までの利用者数の年平均伸び率（最大２％まで）を乗じて試算（施設ごとに試算し合計）

施策２　文化の継承による魅力ある地域づくりの推進

指標名	現状値(R7)	目標
指定文化財等件数（文化財）※	560件	590件

※国登録文化財申請が年３回（３回/年×１件×10年＝30件）

施策３　観光や産業等の他分野との連携の推進

指標名	現状値(R7)	目標
市立博物館の入館者数※１（博物館）	32,211人	35,300人
市内の延べ観光客入込数※２（観光）	9,977,900人	調整中

※１ 令和７年度までの過去10年（コロナ渦の令和２,３年度除く）の平均入館者数を維持
（長野市の10年後の人口が4.8%減と予想される中、平均入館者数を維持）

※２（調整中）

■ 総合計画における分野別（総合）指標（市民アンケート）

指標名	現状値(R〇)	目標
文化・芸術・芸能が盛んで誇らしいまちである	（未定）	（未定）

第４章－４　方策の展開

■ 方策の展開に向けた共通する３つの視点

次の共通する**３つの視点※**を重要視しながら、次ページ以降の、各施策に紐づく、10の方策に取組ます。
※総合計画における分野別「目指す姿」実現に向けた視点

視点１：文化芸術・文化財の認知と活動の場の充実

- 文化芸術の鑑賞機会及び文化芸術活動の成果を発表する機会の提供や支援を行う。
- 文化芸術の拠点を整備するほか、市有施設などで気軽に文化芸術に親しめる環境を整える。
- 文化芸術イベントや展示会など、多様な文化芸術事業を企画実施するとともに、各種広報媒体を活用した多角的な情報発信を行う。
- 指定文化財や歴史的なまちなみの調査、整備、保存・公開や学習機会の提供及び積極的な情報発信を通じて文化財等に親しむことができる環境を整える。


善光寺表参道音楽祭

視点２：文化芸術・文化財を支える担い手の確保と育成

- 伝統文化・伝統芸能を継承・保存する活動を支援するほか、イベント開催などを通じて、多くの市民が、そうした活動にふれる機会を積極的に提供していく。
- 文化芸術団体の人材バンクの活用や幼少期から文化芸術にふれる機会を提供することで、関心を促し、担い手の確保を図る。
- 歴史・文化遺産の保護に関わる市民団体やボランティアへの支援を通じて、活動に携わる人材の育成を図る。


伝統芸能訪問講演

視点３：他分野（観光分野等）との連携の推進

- 文化芸術・文化財の活用と観光等他分野との連携を促し、誘客交流や産業振興において相乗効果を発揮させ、地域経済の活性化を図る。
- 観光関連団体と連携し、文化芸術等のイベントを誘致することで、市内の観光消費を喚起する。


真田宝物館

方策１：長野市芸術館を核とした多彩な文化芸術の鑑賞機会の提供

総合計画基本計画（前期）10「文化芸術」
基本政策１：魅力あふれる文化芸術活動の推進

現状と課題

・令和８年５月に長野市芸術館が開館10周年を迎え、長野市の芸術文化振興の拠点としての役割への期待が高まっている。指定管理者により「オリジナル公演」「市民参加」「普及・育成」を柱とした事業が展開されている。
・今後一層、市民ニーズに対応した鑑賞機会の提供が必要である。

視点

・市民が年間を通じて優れた文化芸術を鑑賞できる。
・日常から気軽に芸術に触れる機会が持てる。
・長野市芸術館で、常に市民の活発な文化芸術活動が行われている。

取組内容

1　国内外の優れた文化芸術の鑑賞機会の提供や支援

長野市芸術館において、市民が優れた舞台芸術や美術作品などの文化芸術に触れることができるように、様々なジャンルの公演や事業等を市民団体や指定管理者と連携して提供・支援する。

また、第一庁舎１階から８階に、市所有の長野市ゆかりの作家による芸術作品や、市内小中高校生や大学、専門学校の学生による作品を展示し、市民が気軽に鑑賞する機会を提供する。

2　文化芸術振興の拠点の整備と適切な運営管理の実施

芸術振興の拠点を計画的に整備するほか、文化芸術の振興を効率よく推進するための運営管理や市民ニーズに沿った適切な運営管理を行う。



長野市階遊美術館

方策２：市民の自主的な文化芸術活動への支援と発表機会の充実

総合計画基本計画（前期）10「文化芸術」
基本政策１：魅力あふれる文化芸術活動の推進

現状と課題

・市有施設等において文化芸術の各種講座の開催や施設の貸し出しを実施している。
・気軽に発表できる場の提供や自主的な事業に対する補助を実施している。
・文化芸術に馴染みの薄い市民にも関心を持ってもらえるような取組が必要である。

視点



・誰もが気軽に様々な文化芸術に触れることができる。
・市民の自主的な文化芸術活動を推進する環境が整備されている。
・若者から高齢者まで、いきいきと文化芸術活動に参加し、生きがいにつながっている。

取組内容

3　文化芸術を楽しむ多様なスタイルの推進

文化芸術を通じて自己表現できるよう、市有施設等で入門講座や体験教室等を開催する。

4　文化芸術活動の成果を発表する機会の提供や支援

多くの市民が気軽に発表及び鑑賞できるよう、市内の各種文化芸術団体の舞台発表や作品発表の場及び日常的な活動の場を提供・支援する。

5　街中に芸術と音楽があふれるまちづくりの推進

日常的に街中に芸術と音楽があふれる街づくりを進め、街のにぎわいと市民による文化芸術活動の更なる活性化及び交流人口の増加を推進する。

6　助成金・補助金等の充実

市民団体の自主的・自発的な舞台発表・作品展などの事業費を支援する。

7　文化芸術活動に係る人材の育成

市民団体等が気軽に活動の相談ができる人材バンク等の設置及び活用を促す。

方策３：子どもの創造力や感性を育む文化芸術活動の支援

総合計画基本計画（前期）10「文化芸術」
基本政策１：魅力あふれる文化芸術活動の推進

現状と課題

・芸術館や市有施設等において、子ども向け文化芸術プログラムを実施している。
・子どもの健全育成に果たす文化芸術の重要性が増している。
・文化芸術団体の後継者不足が課題であり、子どもの参加を促す取組が必要である。

視点

・子ども個々の潜在能力を引き出し、感性を磨き、創造性豊かな人間形成がされている。
・様々な文化芸術活動に子どもや若者がいきいきと参加している。

取組内容

8　幼少期からの文化芸術体験の推進と活動の支援

子どもが様々な文化芸術を体験できるプログラムの提供と活動を支援し、親子で参加し、楽しめる音楽や演劇などの鑑賞の機会や、絵本の貸出等を通じた親子のふれあいの機会を提供する。

また、中学校の文化部活動の地域展開を推進するため、活動の受け皿となる文化芸術団体の掘り起こしと、活動拠点の環境整備を進める。


芸術館子ども向けワークショップ


中学校吹奏楽部の地域展開の活動

方策４：交流が広がる魅力ある文化芸術事業の創造

総合計画基本計画（前期）10「文化芸術」
基本政策１：魅力あふれる文化芸術活動の推進

現状と課題

・市や指定管理者において、様々な文化芸術公演・イベントを企画・広報し、実施している。
・文化芸術公演やイベント、街中のアート作品等の魅力や関心を高める必要がある。

視点

・芸術館や市有施設、街角など様々な場所で日常的に文化芸術活動が行われている。
・文化芸術公演やイベント、街中のアート作品など、文化芸術に気軽にふれている。

取組内容

9　多様な文化芸術事業の企画実施

多様な文化芸術に身近に接することができるよう、音楽、美術、演劇や伝統芸能など様々な文化芸術事業を、指定管理者や文化芸術団体などと連携、協力し、企画、実施する。

10　野外彫刻ミュージアム事業の推進

誰もが気軽に芸術作品にふれることができるように、「野外彫刻ながのミュージアム」事業を推進し、設置方法や活用方法を検討し、野外彫刻の魅力向上を図る。



野外彫刻めぐり

11　市民ニーズに対応した情報の発信

文化芸術に関する各種公演やイベント情報、施設の利用状況について、様々な広報媒体を使用したタイムリーな情報発信を行う。

方策５：指定文化財などの調査・整備及び博物館の展示や史跡の公開の推進

総合計画基本計画（前期）10「文化芸術」
基本政策２：多彩な歴史・文化芸術に対する愛着と誇りの醸成

現状と課題

・市内には指定文化財をはじめとする有形・無形の歴史・文化遺産が存在する。
・市指定文化財などの保存や活用方法の検討が必要である。

視点



・市内の指定文化財などが適切に保存・継承・活用されている。
・文化財の保存・継承・活用が魅力ある地域づくりにつながっている。

取組内容

12　文化財の調査

文化財に関する基礎資料を収集するとともに、保存・活用に向けた各種調査を行う。

13　文化財の整備

市の所有する歴史的・文化的な文化財の保存・活用に向けた整備事業を計画的に進める。

14　所有者による文化財整備事業の助成

指定文化財の適切な保存・活用に向け、所有者実施の保存修理等に対し補助金を交付する。

15　文化財の展示

豊かな収蔵資料を活かした魅力ある特別展示の開催と常設展示の入替等を実施する。

16　文化財の公開

公開のために整備された文化財の管理を行うとともに、その他の文化財について、説明板や案内標識を設置して公開を進める。

17　文化財に親しむ学習機会の提供

保存整備工事や発掘調査、博物館展示等に合わせた見学会等を実施し、市民が気軽に文化財に親しむことができる学習機会を提供する。

18　文化財の情報発信

図録等の図書出版やwebを活用し、博物館収蔵資料や文化財の情報の発信、公開を行う。

方策６：伝統文化・伝統芸能を次世代へ保存・継承する関係団体及び活動への支援

総合計画基本計画（前期）10「文化芸術」
基本政策２：多彩な歴史・文化芸術に対する愛着と誇りの醸成

現状と課題

・地域の伝統芸能の保存、継承に向け支援策を検討・実施している。
・伝統芸能の後継者不足や資金不足による活動の休止等の対策が必要である。

視点

・伝統芸能に若者が参加することで、継承され、地域の活性化が図られている。
・地域の伝統芸能を通じて、地域への愛着を形成している。

取組内容

19　伝統文化・郷土芸能の指導者・後継者の育成や保存団体の支援

伝統文化や郷土芸能を継承・保存する活動に対する補助金等の交付を行うほか、地域における伝統文化の後継者や指導者育成への支援を行う。

20　地域に根ざした伝統文化・伝統芸能継承活動の促進

地域の伝統芸能や伝統行事を掘り起こし、多くの市民がふれる機会を提供するほか、継承や復活に向けた取組を支援する。また、地域の獅子舞や神楽保存会等の継承を支援するため、舞踊等を録画保存の上、アーカイブ化を図る。


伝統芸能こどもフェスティバル


ながの獅子舞フェスティバル

方策７：歴史的なまちなみなどの環境の保存・活用

総合計画基本計画（前期）10「文化芸術」
基本政策２：多彩な歴史・文化芸術に対する愛着と誇りの醸成

現状と課題

・現存する文化財を活用した特色あるまちづくりを推進している。
・自然と調和した景観や歴史的・文化的な景観の形成・維持を図る必要がある。

視点

・豊かな自然環境と調和し、地域固有の歴史・文化が感じられる景観が形成されている。
・良好な景観の形成によって、まちの魅力が高まっている。

取組内容

21　歴史的まちなみの保存・活用

地域固有の歴史的まちなみなどの環境を保存し、まちづくりの中で活用するための調査及び整備を進める。

22　良好な景観の形成

豊かな自然と歴史・文化、都市の特性を活かした景観の形成を促進するとともに、景観意識を高める。





伝統的建造物群保存地区等の景観

施策２：文化の継承による魅力ある地域づくりの推進

方策８：歴史・文化遺産の保護・活用を担う団体の育成と活動支援

総合計画基本計画（前期）10「文化芸術」
基本政策２：多彩な歴史・文化芸術に対する愛着と誇りの醸成

現状と課題

・指定文化財などが適切に継承されるように支援している。
・指定文化財などの保護に関わる担い手を確保していく必要がある。

視点

・地域の歴史・文化遺産が地域住民などの活動によって保存・継承され、地域住民の拠り所となっている。

取組内容

23　文化財ボランティアの育成と文化財保護活動の支援

文化財の保護・活用に携わるボランティアの育成及び支援を行うとともに、地域住民などによって結成された文化財保護団体の活動を支援する。


文化財保護活動の様子


文化財ガイドの様子

方策９：歴史・文化遺産を活かした観光や産業の振興

総合計画基本計画（前期）10「文化芸術」
基本政策３：文化芸術・文化財を活かした地域経済の振興

現状と課題

・文化施設等における特別展などの開催や、文化施設等を活用した体験型コンテンツを企画、実施している。
・観光目的による市内の文化施設等の周遊率を高めるほか、平均的な滞在時間を増やす必要がある。

視点

・文化財、文化芸術といった豊富な観光資源が活かされ、観光客でにぎわい、観光消費額が増加している。

取組内容

24　文化財を観光資源と位置づけた誘客交流事業の拡大

文化施設等における展示会の開催や体験型コンテンツの企画と併せ、観光客向けのイベントや市内周遊を促す取組を進めることで、観光客による文化財の鑑賞や活用機会の拡大を図る。

25　文化芸術と観光の振興

文化芸術の関連イベントを観光誘客の交流イベント等と連携して実施することで、誘客の相乗効果を促す。

26　文化芸術と産業の振興

文化芸術の創造性を活かした伝統工芸や地域産業の振興、及び集客力を活かした地域及び商業の活性化を図るとともに、伝統的な郷土料理や食文化を継承する活動を推進する。



ながの市まち歩きガイドマップ

方策10：文化芸術を活かした地域活性化と交流人口の拡大

総合計画基本計画（前期）10「文化芸術」
基本政策３：文化芸術・文化財を活かした地域経済の振興

現状と課題

・令和６年３月の北陸新幹線敦賀延伸により、北陸及び関西圏とのアクセスが向上した。
・長野市芸術館において、市内外から様々なアーティストを招き公演事業を行っている。
・イベント参加者の宿泊や、市内観光施設等の回遊につなげていく必要がある。

視点

・年間を通して、文化芸術イベントが開催され、市内外から多くの観客が訪れている。
・イベントの参加者が、市内を回遊し、観光地としての長野市を楽しんでいる。

取組内容

27　文化芸術イベントの誘致による観光振興と地域の活性化

芸術館や市内の大規模施設を活用し、集客力のある文化芸術イベントを誘致することで、県内外からの集客による観光都市としてのにぎわいと地域活性化を図る。

また、公益財団法人ながの観光コンベンションビューローと連携してイベントやコンベンションの誘致を行う。



エンジン01 in 加賀（仮）



善光寺御開帳の様子

第５章　計画の推進体制と役割分担

第５章－１　推進体制

１　推進体制について

市は、文化芸術振興にかかる総合的な企画・調整を行い、地域の特性に応じた施策を策定し、計画的に推進します。

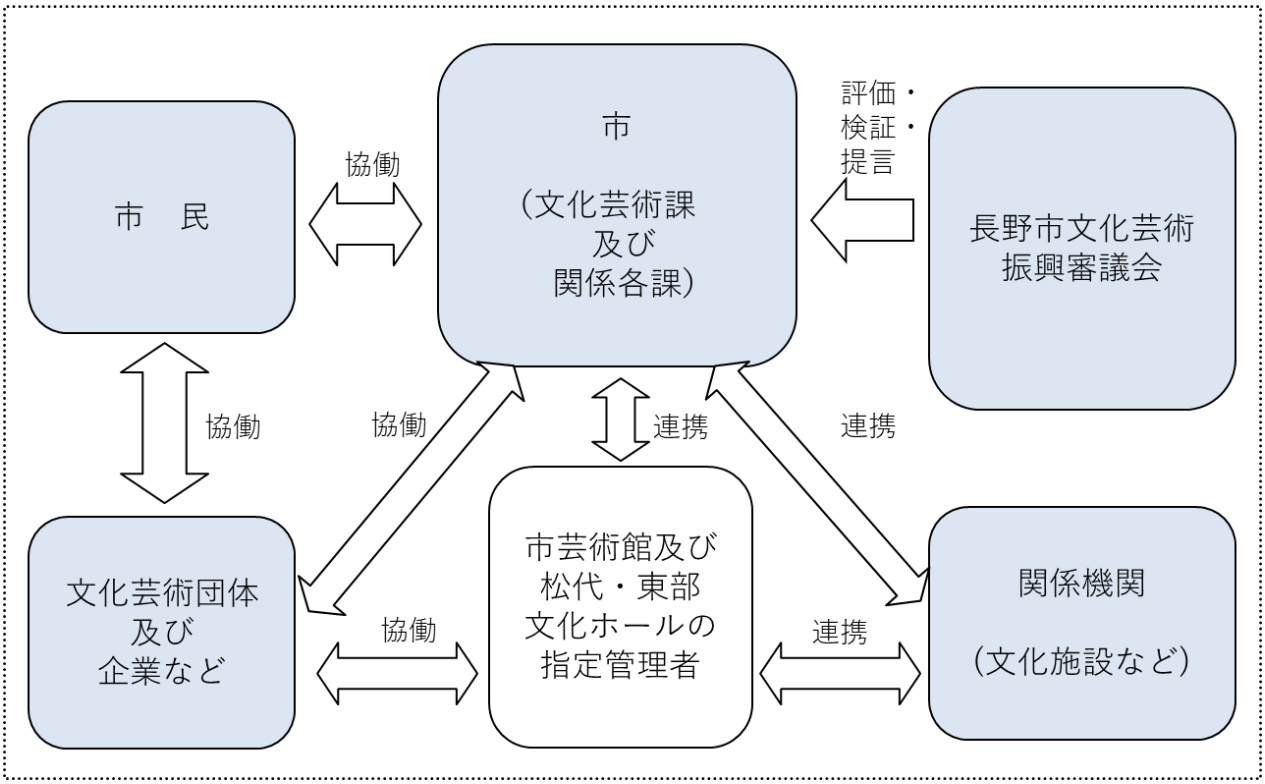
本計画の推進に当たっては、行政のみならず、市民、文化芸術団体、ホール等の指定管理者、文化施設、教育機関などの関係者のほか、芸術家、ボランティアなど様々な活動主体が、それぞれの立場で積極的に取り組むことが必要です。

市は、計画的かつ効果的に施策の推進を図るため、それらの多様な主体と連携・協働していきます。

また、外部委員による組織としては、学識経験者や各種団体代表、市民等で構成する長野市文化芸術振興審議会において、施策の評価及び検証を行うとともに、施策の進め方や事業の見直し等について提言をいただきます。

行政内部においては、関係各課との情報共有を行い、事業の進捗状況の報告、施策の推進にかかる部局間の連携及び調整を行い、計画的な推進に取組ます。

さらに、施策の評価結果などは、市のホームページ等で、市民に分かりやすく公表します。



２　評価・検証について

市は、毎年、本計画に基づく事業計画書（アクションプラン）を作成し、長野市文化芸術振興審議会において、評価・検証を行う。

第５章－２　役割分担

1　第六次長野市総合計画における役割分担

第六次長野市総合計画のおける「10 文化芸術」分野では、「文化芸術に親しみ、創造し、継承されている」という目指す姿を実現するため、市民や企業・団体が実践できる取組のヒントを例示しています。

● みんなができることのヒント

市民	・文化ホール等で文化芸術に参加する。 ・地域の文化・歴史を学ぶ。 ・地域の文化・歴史の魅力を発信する。
企業・団体	・文化芸術活動やイベントへの協力・支援を行う。 ・文化芸術団体は、積極的な活動、活動の周知に努める。 ・文化財やまちなみの保護・保存・活用に取り組む。

本計画においても、第六次長野市総合計画における「みんなができるヒント」を参考に、各活動主体が役割分担を持って、本計画の施策を推進していきます。

2　本計画における文化芸術振興に期待される役割分担

（1）　市民

文化芸術活動の主役は市民です。市民一人ひとりがお互いの価値観を認め、尊重し、文化芸術を楽しみ、主体的に活動することが大切です。一人ひとりが文化の担い手であるとの自覚を持ち、文化芸術に積極的に触れたり活動したりすることを通じて、それぞれが持っている経験や知識などの能力を発揮することが求められています。

また、文化芸術イベントの運営に文化ボランティアなどとして積極的に参画することで、参加者の立場に立った運営が行われ、文化そのものが活性化していくことが期待されます。

（2）　文化芸術団体

文化芸術団体は個人の活動を支える役割を担っています。同種の文化芸術活動を行う人々が集まり相互に協力・刺激し合うことで、自らの活動の幅が広がり、質が高まることが期待されています。

また、複数の団体が情報を共有し連携した活動を展開することで、各団体の活動の質が向上するとともに、大規模イベントの実施も可能となります。

文化芸術団体には、市民参加を促進し、市民全体の文化意識を高める役割が期待されます。

（3）　企業

企業は、地域社会の一員であるとの認識のもと、地域の文化芸術活動を積極的に支援するとともに、企業の持つ事業のノウハウや人材などの資源を活かして、地域の文化芸術振興の重要な担い手として地域に活力を与え、地域経済の活性化につなげていくことが期待されています。

（4） 文化施設等関係機関

文化施設は、誰もが気軽に文化芸術に接することができる文化芸術活動の拠点であり、文化芸術に関する知識や情報を活用し、利用者の立場に立った施設運営とともに、優れた文化芸術事業の企画・実施、情報提供などの役割を果たすことが期待されています。

また、市民の学習拠点である公民館や生涯学習センター等の社会教育施設は、地域における身近な活動拠点であり、文化芸術に関する各種講座の開催や活動場所の提供を通じて市民の文化芸術活動を推進・支援する役割が期待されています。

小中学校など教育機関においては、児童生徒が多様な文化芸術活動に参加・体験できる機会や、文化財などを活用し、地域の優れた文化に触れ親しむことができるような環境を充実させることが必要です。

大学等の高等教育機関においては、行政や文化芸術団体等と連携・協働し、講座やセミナーを開催し、高等教育機関が有している専門知識や人材を活用し、人材の育成や市民への啓発を行うことが期待されています。

（5） 市指定管理者

長野市芸術館や東部・松代文化ホールそれぞれの指定管理者には、施設の管理運営に関し、これまでの実績を活かしながら、今後も、創意工夫をこらした企画や、利用者ニーズを把握した運営などを行い、文化芸術活動の拠点として、市と連携して文化芸術を振興していく役割が期待されています。